

大垣市 農業委員会だより

第8号

平成28年1月1日発行

編集/発行 大垣市農業委員会
(大垣市丸の内2丁目29番地)

☎ 0584-81-4111 (内線532)

☎ 0584-47-8614 (直通)

Fax 0584-81-4899

新年のご挨拶

大垣市農業委員会

会長 岩井豊太郎

皆様にとって、平成28年の新春を、健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

日本の農業は、少子高齢化による人口減少の中で農業の担い手不足や農業者の高齢化、自民党の政権復帰以来、戸別所得補償制度の廃止、生産調整の見直し、農協改革、農業委員会改革、農地制度の見直しなど、大きな改革が続き、生産現場から次から次へと振り回されていることへの不満もあるようです。

このような農家にとって多くの不満のある中、昨年は、我が国農政にとって大きな転換点の年でありました。

一昨年6月、規制改革会議から「規制改革に関する第2次答申」が公表され、政府は、「規制改革実施計画」



を閣議決定しました。その中の農業分野においては、「競争力ある農業、魅力ある農業を創り、農業の成長産業化を実現する」ため、農地中間管理機構の設立に加え、農業委員会、農業生産法人、農業協同組合の在り方の見直しを断行しました。

農業委員会は、昭和26年に発足して以来60年以上経過し、制度の抜本的な見直しがなされ、主な点は、選挙・選任方法の見直し、農業委員会事務局の強化、農地利用最適化推進委員の新設、遊休農地対策、違反転用への対応、転用制度の見直し等が、個別指導事項として挙げられています。中でも農業委員の選出方法は、公職選挙法に基づくものから市町村長が議会の同意を得て任命する方法に変わります。このように大き

く改正された農業委員会法の施行は、本年4月となっております。

昨年10月5日、日本を含めた参加12か国間でTPP(環太平洋連携協定)に関して大筋合意しました。

これはすべての関税を撤廃するのが基本の経済連携・自由貿易協定であり、いくらかの例外措置は残せたものの、日本の農林水産品の8割の関税が撤廃されます。結果、多くの品目で価格が下落する懸念があることは、農林水産省も認めており、政府は、このような生産現場の不安に、

昨年11月25日TPP関連政策大綱を決定し、いち早く「攻め」と「守り」の対策を示しました。大事なことは中身で、農林水産省の行った分析によると「影響は限定的」という楽観的な評価を聞いて、こんなことでは対策の具体化に、TPPの直撃を受けた農業者の不安に寄り添って丁寧な議論を重ねないと農業者の不安を払しょくすることは到底できないと思います。

今年の私の夢は、本市の農政の取り組み姿勢を、農業の新しい時代の到来ととらえ、改正農業委員会法の適切な運用とTPPを攻めの農業に切り替えるチャンスとし、農業のグローバル化に向けて、本市から世界に発信する百姓の気概を示すことであると思います。

大垣市農業委員

小川道夫



中川地区の紹介

中川地区は、大垣市の北部、大垣駅の北に位置し、国道21号線が通っています。当地は、15地区の農事改良組合で構成されています。

現在の農地は、約200haで、市街化区域、市街化調整区域に分かれ、主要作物は、ハツシモ、レンゲハツシモ、一部分では、梨、イチゴなどが栽培されています。水稻栽培に大切な水源は、西濃用水1カ所の導水と、不足分は7台のポンプをタイマーで制御し、水資源と電気の有効活用に努めています。なお、一昨年4月から昨年11月の間では、分譲住宅、共同住宅、店舗等で約4haの農地が転用されました。

昨年3月、中川地区農業サ

ポート支援会議が開かれました。この会議では、農業従事者の高齢化や後継者不足により個人営農が困難となり、農業を担う人と農地の問題を解決するための計画を策定しました。今後、地域の担い手の確保、担い手にどの様に農地を集積していくのか、今後の地域農業のあり方等協議決定し進めていくことが必要です。メンバーは、地区農事改良組合長、JA中川支店長ほか、営農担当者、営農組合、認定農業者などです。現在の担い手は、2つの農業法人と認定農業者3人です。

今後も、各関係機関の方々や、地域の皆様のご支援、ご協力を得て務めてまいります。よろしくお願ひします。

大垣市農業委員

草野直木



多良地区の紹介

多良地区は、上石津トンネルの南側に位置し、周りが山で囲まれた盆地です。町の中心を南より北に流れる牧田川の河川敷に作られた平地を利用した田で、稲作が行われてきました。また、今では少なくなりませんが、山裾を開墾し、石垣で作った小さな棚田も多くあります。

この地区には、約240haの農地があり、主にコシヒカリが栽培されています。また、近年、休耕田を利用した飼料米の生産も多く行われています。

全国的な問題である農業者の高齢化による後継者不足が顕著です。また、山間部特有のイノシシ、シカ、サルによる獣害被害です。

2年程前より、国、県、市に

よる補助で、各沖ごとに水田の周りを高さ2mのネットで囲う工事が行われ、被害も確実に減少してきていますが、山側に点在する工事がされていない田では被害が増加しており、今後、耕作が放棄されないか心配しています。傾斜地にある水田が多く、畦畔の草刈り、水の取り入れ口の管理等に労力がかかり、生産性が悪いいため、若い世代に受けが悪いのが現状です。しかし、多良地区の一部では、昨年より町外の農業生産法人による米作が行われており、増加する耕作放棄地の対策になれば良いと考えています。

農業委員になり2期目ですが、皆様のご理解ご協力を得て進めて行きたいと思っております。よろしくお願ひします。

先進地視察研修

農業委員会は、11月19日(木)に兵庫県神戸市にある「兵庫楽農生活センター」、20日(金)に姫路市にある「(株)香寺ハーブガーデン」を視察しました。

兵庫楽農生活センターは、兵庫県が設置し、公益社団法人 兵庫みどり公社が管理運営する施設です。「農」を学ぶ学習機能を重点とした「楽農学校事業」と、栽培・農産物加工・食などの体験や交流機能を重点とした「楽農交流事業」を行っており、さまざまな施設やプログラムを運営しています。また、施設内にあるレストラン「育みの里 かねで かねで」は、「地産地消」「安心」「安全」「健康」「環境」の考え方を大切にし、体にやさしい美味しい料理を提供することをコンセプトに運営しており、地域の方々に好評を得ています。また、第3回地産地消給食等メニューコンテストにおいて、「農林水産大臣賞」を受賞しています。



＜兵庫楽農生活センターで新規就農研修の説明を受ける様子＞



＜(株)香寺ハーブガーデンで取り組みの説明を受けました＞

(株)香寺ハーブ・ガーデンは、ハーブ由来の化粧品・浴用剤・食品等の製造販売、抽出・発酵技術の研究開発を行っています。耕作放棄地を活用したバーク栽培、農地の草刈り等による集落機能の維持保全、収穫ボランティアの活用など、耕作放棄地解消・六次産業化に努めています。また、兵庫県が推進する「企業のふるさと支援活動推進事業」として、姫路市夢前町山之内連合自治会と連携活動を行っています。

いずれも、地域に根差した農業による地産地消・六次産業化を実践しており、今後の農業の在り方を学ぶことができました。

【お知らせ】

「農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」の提出が不要になりました！

農業委員会法等の改正を含む「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案」が、8月28日に可決・成立し、9月4日に公布されました。

改正法の公布により、農業委員の公選制を廃止し、市町村長の選任制へ変更されました。なお、改正法の附則により、「施行日に在任する農業委員については、任期満了の日までの間、なお従前の例により在任する」こととなり、また、公布日以後は「農業委員会の委員の選挙は行わず、農業委員会委員選挙人名簿の調製もしない」こととされています。

よって、毎年1月10日までに提出いただいていた「農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」の提出が不要になりましたのでお知らせします。

なお、農業委員会法の主な改正内容は、①農業委員会の義務業務として「農地利用の最適化の推進」を位置付け、②農業委員の公選制を廃止し、市町村長の選任制へ変更、③農地利用最適化推進委員の新設等で、平成28年4月1日に施行されます。

■ 担い手紹介④ 農事組合法人 みなみいちはしファーム

組合長 山田 敏治

農事組合法人みなみいちはしファームは、平成19年に設立した南市橋集落営農組合が南市橋地区を中心として農業生産を行ってきた事業を継承し、さらに発展させることを願って平成27年7月に設立しました。

米価の下落・補助金のカット・後継者不足・高齢化・資材等の高騰など不安材料は山積していますが、米、麦、大豆の生産性をさらに向上し経営の安定化を求めつつ、南市橋の地域で生きる法人としての側面からの発想で、新たな事業への取り組みも検討しているところです。私たちは次のように経営理念を掲げ、目標を明確に定めて活動をしていく覚悟です。

○私たちは、組合員の利益を増進するために健全経営に努め、協働を理念として活動します。

○私たちは、環境への配慮、健康で安全安心、美味をモットーにした農業経営を理念として活動します。

○私たちは、地域と多面的な関わりを持ち、大切な農地と農村環境の保全に努め、心豊かで笑顔があふれる地域作りに寄与することを理念として活動します。



概 要

住 所：大垣市草道島町字北出口97番地2

組合員数：35戸

代表者：山田 敏治

経営面積：約22ha

設立年月日：平成27年7月31日

経営内容：主食用水稲、飼料用水稲、小麦、大豆

(旧南市橋集落営農組合は平成19年に設立) 電話番号：0584-71-0067

大垣市農地賃借料情報

平成27年1月から12月までに、農業経営基盤強化促進法に基づき利用権設定された賃借料及び農地法第3条許可により設定された貸借における賃借料水準は、次のとおりです。

＜水田の部/10a当たり＞

締結(公告)された地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数
大垣地域	6,480	10,000	4,000	18
上石津地域	—	—	—	0
墨俣地域	4,000	4,000	4,000	33

※市街化区域は除く

\\ メリットいっぱい!! \\
国が支える担い手積立年金

農業者年金に加入しよう!

老後の備えは
万全ですか?

加入要件

60歳
未満

国民年金
第1号
被保険者

年間
60日以上
農業従事

3つの要件を満たせば
どなたも加入できます!

※有利な国民年金の付加年金も併せて加入ください。

【お問い合わせ・申し込み／大垣市農業委員会 または 岐阜県農業会議 ☎058-268-2527】